

試薬の安全性

[硫酸の特徴]

- ・強い酸(相手にプロトンを強く渡そうとする)
- ・**希硫酸**は**強酸**、**濃硫酸**は**弱酸**(←電離していないので)
- ・吸湿性(→デシケータで用いられる)
- ・水への溶解熱大
- ・水の密度<硫酸の密度 →硫酸の上に水が浮く → 水が**沸騰**

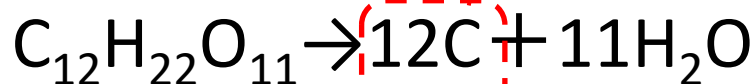


注) **希釈時**は、**水に硫酸を注ぐ**(硫酸が沈み、溶解熱も分散)

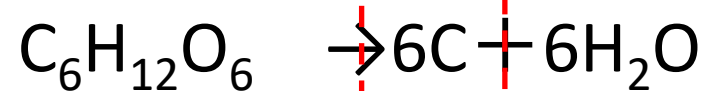
- ・硫酸は不揮発酸
- ・脱水作用

炭化

ショ糖



グルコース



セルロース



硫酸は危険！！ 注意

実習1 紙に硫酸を1滴 滴下して、経時変化を観察

実習2 ブドウ糖に硫酸を1滴 滴下して、経時変化を観察



- ・希硫酸であっても、濃縮されるので拭き取った紙はゴミ箱に直接捨てない
- ・付着したら、直ぐに十分な水で洗い落とす

硫酸以外にも**危険な薬品**は多数あります。

フッ化水素 皮膚に接触すると、体内に容易に浸透し、
骨を侵す

水酸化ナトリウム タンパク質を溶かしますので、目に入
った場合、直ぐに水洗しないと失明

ケミカルハザード薬品

ペニシリン系、セファロスポリン系、
ステロイドホルモン系、
抗がん剤
放射性同位元素系 など